

2：「がん」についての認識

(7) 「がん」の治療には高額な医療費がかかる

問6. 「がん」について、あなたのお考えを聞かせてください。
 (7) がんの治療には高額な医療費がかかる

【全体】

- 「そう思う」が 53.8%、「多少思う」が 39.6%であり、「思う（計）」は 93.4%である。大多数の人が「がんの治療には高額な医療費がかかる」と思っている。

【性別×年代別】

- 「男性：19歳以下」を除いて、「思う（計）」が 90%を超えている。
- 同年代の男女別で比べると、「70歳以上」を除く全年代で、「思う（計）」は、男性より女性の方が多い。



【前回調査との比較】

前回調査との比較では、±10ポイントを超える値の増減は見られなかった。

3 : 「がん」に関する知識

(1) 日本人のおおよそ二人に一人が「がん」になる

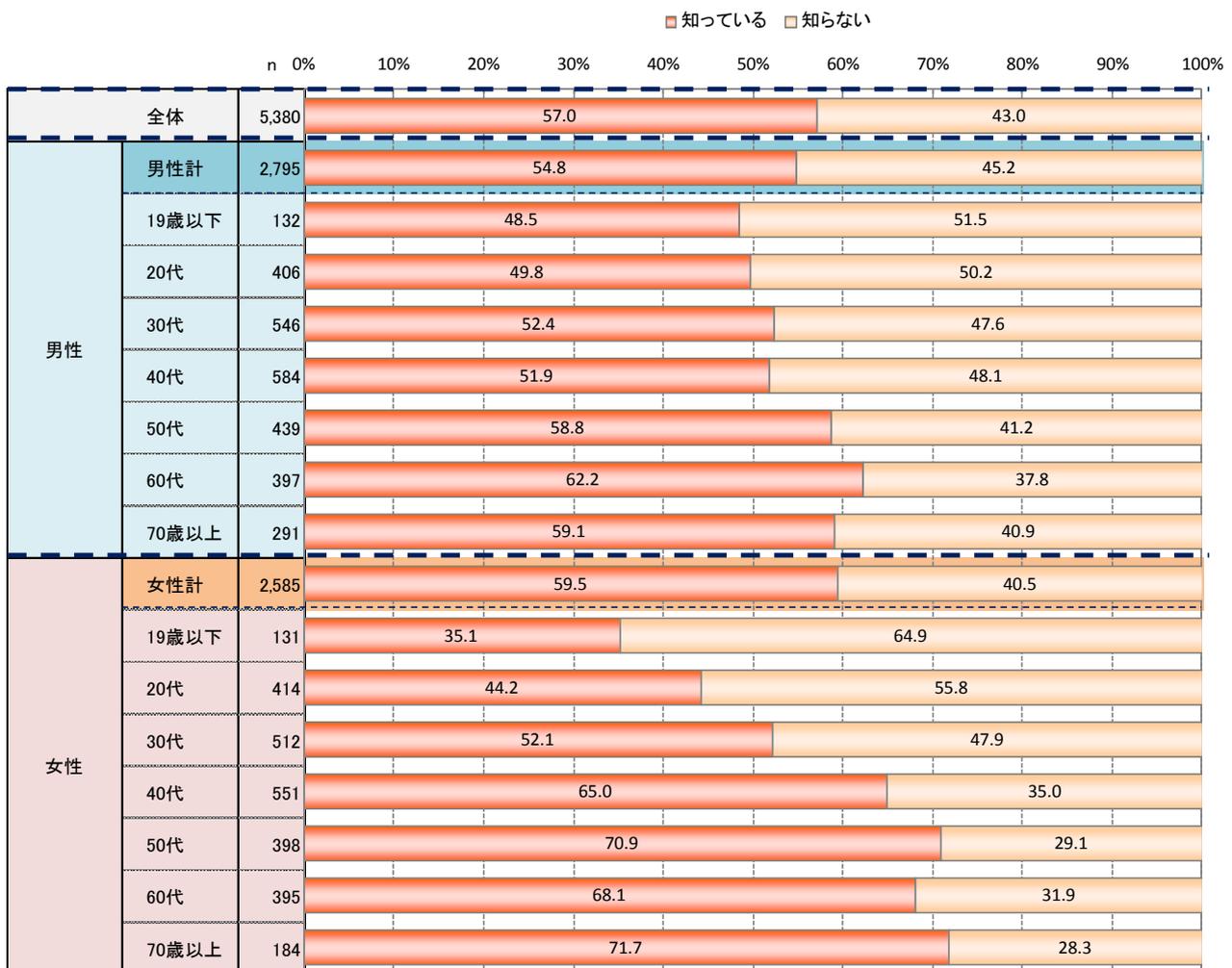
問7. 「がん」に関する次のことについて、知っていますか。
 (1) 日本人のおおよそ二人に一人が「がん」になる

【全体】

- 「知っている」が 57.0%、「知らない」が 43.0%である。

【性別×年代別】

- 男女別では、男性の「知っている」が 54.8%、女性の「知っている」が 59.5%であり、女性の方が 4.7 ポイント多い。
- 同年代の男女別で比べると、「知っている」は、「30代」までは男性の方が多いが、「40代」で逆転し、それより上の年代では女性の方が多。
- 男性で「知っている」が最も多いのは「60代」の 62.2%、最も少ないのは「19歳以下」の 48.5%である。一方、女性で「知っている」が最も多いのは「70歳以上」の 71.7%、最も少ないのは「19歳以下」の 35.1%であり、女性の方が年代間の認知度に差がある。



3 : 「がん」に関する知識

(2) 「がん」になる人は高齢になるほど増加する

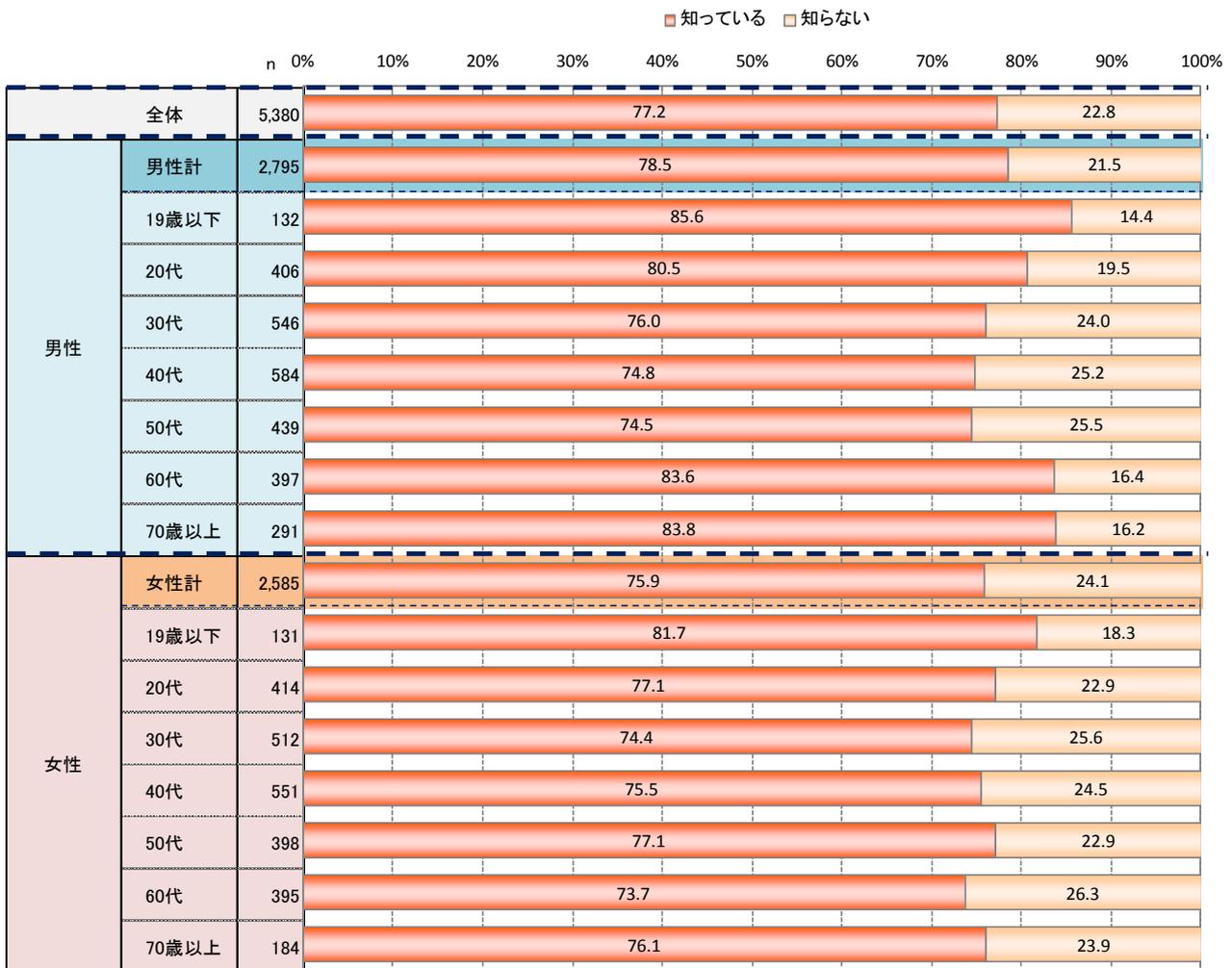
問7. 「がん」に関する次のことについて、知っていますか。
 (2) 「がん」になる人は高齢になるほど増加する

【全体】

- ・ 「知っている」が77.2%、「知らない」が22.8%である。

【性別×年代別】

- ・ 男女別では、男性の「知っている」が78.5%、女性の「知っている」が75.9%であり、男性の方が女性より2.6ポイント多い。
- ・ 年代別での認知度の差はあまり見られず、全ての年代の男女ともに、「知っている」が70%を超えている。
- ・ 男性の「知っている」は「60代」では83.6%、「70歳以上」では83.8%であるのに対し、女性の「知っている」は「60代」では73.7%、「70歳以上」では76.1%である。「60代」「70歳以上」では、男性が女性と比べて、それぞれ9.9ポイント、7.7ポイント多い。



3 : 「がん」に関する知識

(3) 若い世代では男性より女性のほうが「がん」になる人が多い

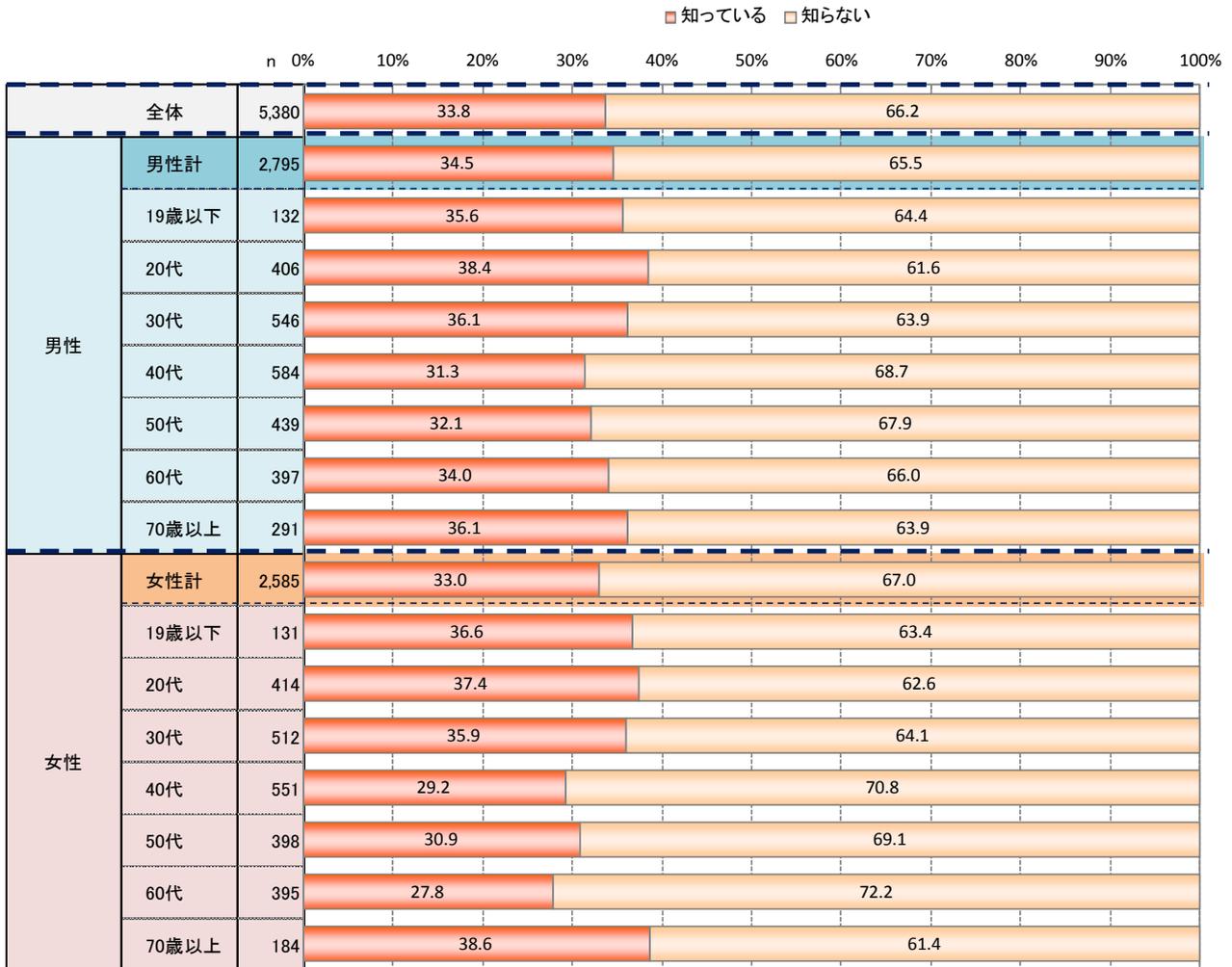
問7. 「がん」に関する次のことについて、知っていますか。
 (3) 若い世代では男性より女性のほうが「がん」になる人が多い

【全体】

- ・ 「知っている」が33.8%、「知らない」が66.2%であり、約3人に2人が「知らない」と答えている。

【性別×年代別】

- ・ 男女別では、男性の「知っている」が34.5%。女性の「知っている」が33.0%であり、男性の方が女性より1.5ポイント多い。
- ・ 年代別では、「女性：40代」の29.2%、「女性：60代」の27.8%を除き、「知っている」は男女とも30%台である。最も多いのは、男性では「20代」の38.4%、女性では「70歳以上」の38.6%である。



3：「がん」に関する知識

(4) 「がん」の治療方法は手術以外にもある

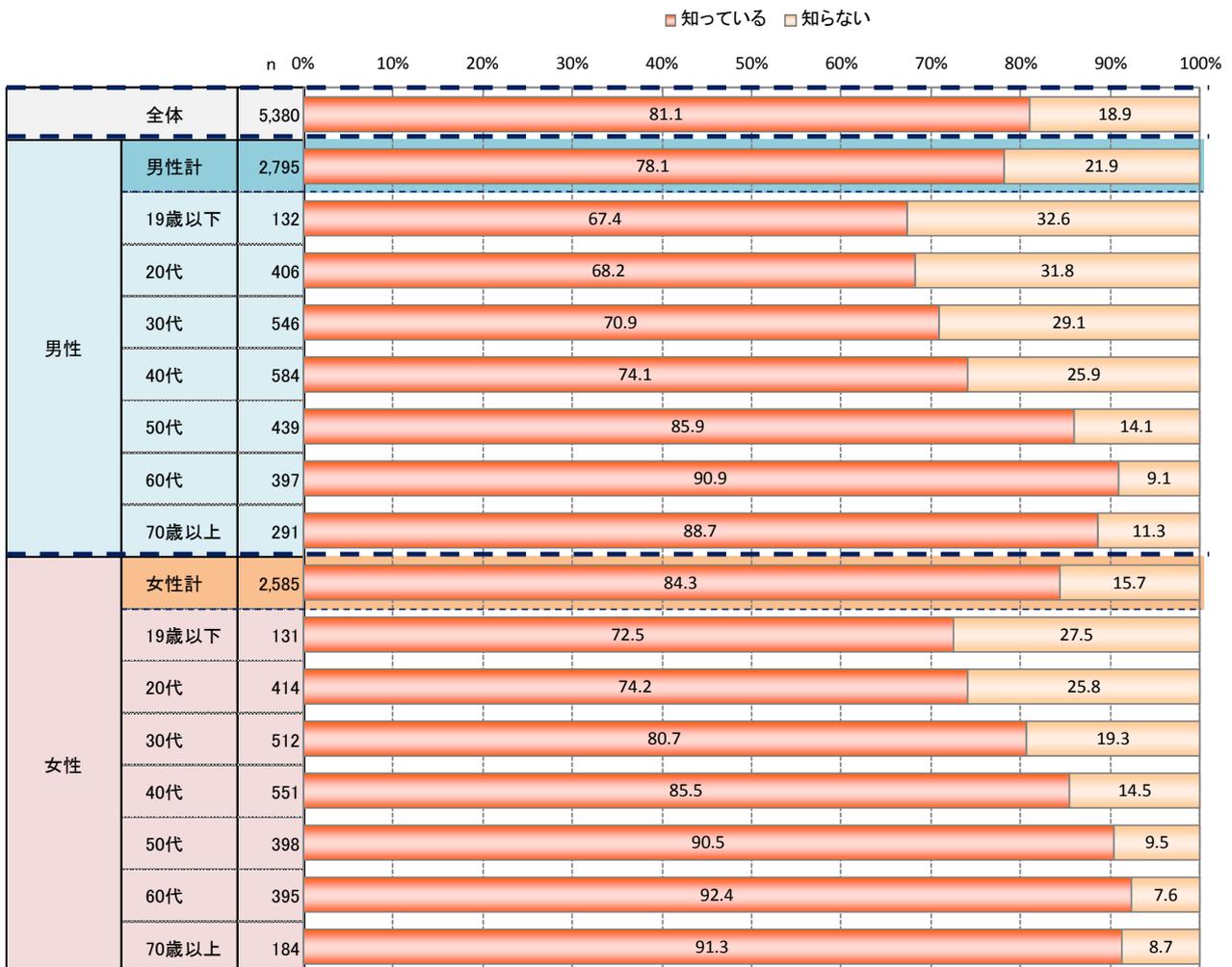
問7. 「がん」に関する次のことについて、知っていますか。
 (4) 「がん」の治療方法は手術以外にもある

【全体】

- 「知っている」が81.1%、「知らない」が18.9%である。

【性別×年代別】

- 男女別では、男性の「知っている」が78.1%、女性の「知っている」が84.3%であり、女性の方が6.2ポイント多い。
- 年代別では、「70歳以上」を除き、年代が上がることに「知っている」が多くなり、男女ともに「60代」が最も多く、「男性：60代」は90.9%、「女性：60代」は92.4%である。
- 男女ともに「19歳以下」が最も少なく、「男性：19歳以下」は67.4%、「女性：19歳以下」は72.5%である。



3 : 「がん」に関する知識

(5) 「がん」の原因と思う上位

問8. あなたが「がん」の原因と思う上位3つの項目を1位から3位までの順に選択してください。(「1位」から「3位」まで3つを選択)

【回答の選択肢】

- | | | |
|--------|-----------|----------------------|
| 「たばこ」 | 「添加物や農薬」 | 「環境ホルモン」 |
| 「大気汚染」 | 「細菌・ウイルス」 | 「かたよった食生活」 |
| 「運動不足」 | 「肥満」 | 「職場での有害物質（アスベスト等）接触」 |
| 「飲酒」 | 「ストレス」 | 「遺伝」 |

【全体】

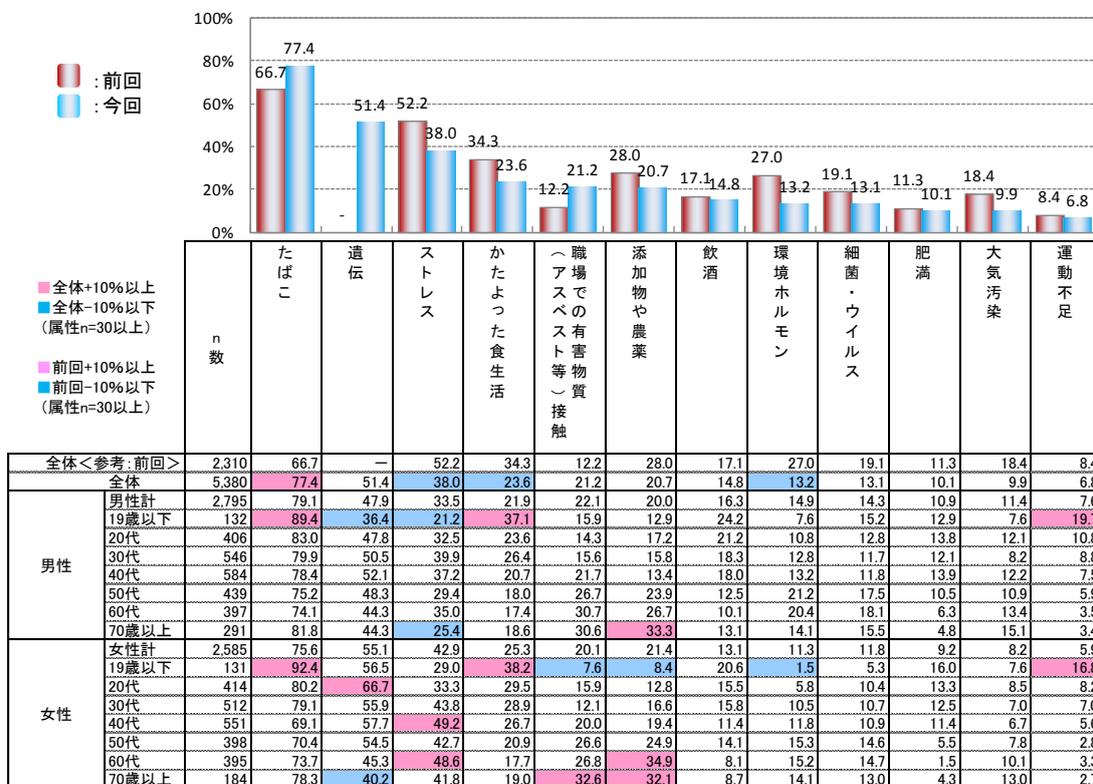
- 「がん」の原因と思う項目の上位は「1位：たばこ」「2位：遺伝」「3位：ストレス」である。

【性別×年代別】

- 男女ともに、「たばこ」が1位、2位が「遺伝」、3位が「ストレス」であるが、「たばこ」は男性が79.1%なのに対し、女性は75.6%と、男性の方が3.5ポイント多い。
- 全年代で、「たばこ」が「がん」の原因として最も多く選ばれている。
- 「ストレス」は男女間での回答数のばらつきが比較的に見られる。特に、「40代」では、男性は37.2%なのに対し、女性は49.2%となり、女性の方が12.0ポイント多い。

【前回調査との比較】

- 「たばこ」は、前回の66.7%から今回の77.4%と10.7ポイント上がった。一方、「ストレス」は前回の52.2%から今回の38.0%となり、14.2ポイント下がった。「かたよった食生活」「環境ホルモン」も前回から10ポイントを超えて下がった。



3 : 「がん」に関する知識

(6) 「がん」の危険性を高めると思う項目

問9. あなたが「がん」の危険性を高めると思う上位3つの項目を1位から3位までの順に選択してください。（「1位」から「3位」まで3つを選択）

【回答の選択肢】

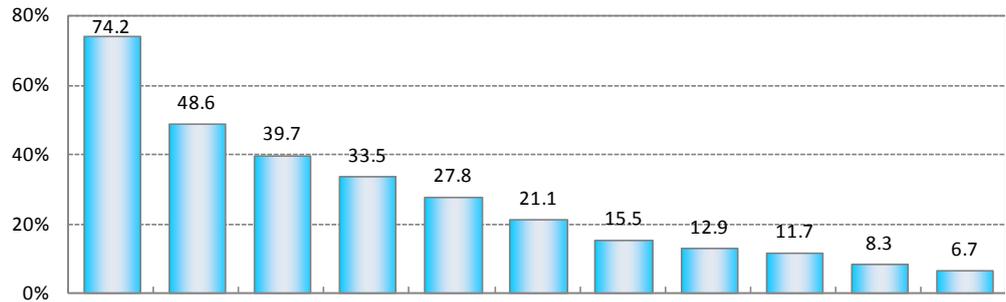
- | | |
|---|-----------------------|
| 「たばこを吸う習慣があること」 | 「他人のたばこの煙を吸うこと（受動喫煙）」 |
| 「野菜・果物の摂取が不足すること」 | 「お酒を飲みすぎること」 |
| 「塩分を摂り過ぎること」 | 「飲食物を熱い状態で摂ること」 |
| 「赤肉（牛・豚の肉）や保存・加工肉を摂り過ぎること」 | |
| 「運動不足であること」 | 「太り過ぎや痩せすぎること」 |
| 「肝炎ウイルスやヒトパピローマウイルス、ヘリコバクターピロリ菌に感染すること」 | |
| 「放射線に被曝すること」 | |

【全体】

- ・ 「たばこを吸う習慣があること」が74.2%で1位であり、次に「他人のたばこの煙を吸うこと（受動喫煙）」が48.6%で2位、「放射線に被曝すること」が39.7%で3位の順である。

【性別×年代別】

- ・ 男女ともに、「たばこを吸う習慣があること」が1位であり、2位は「他人のたばこの煙を吸うこと（受動喫煙）」、3位は「放射線に被曝すること」である。
- ・ 「たばこを吸う習慣があること」は全年代で男女共に第1位であった。なお、年代別で回答が最も多いのは「男性：19歳以下」の84.1%。最も少ないのは「女性：70歳以上」の68.5%である。
- ・ 「他人のたばこの煙を吸うこと（受動喫煙）」は「女性：19歳以下」で59.5%、「男性：20代」で58.4%となり、若い世代が多い。一方、「男性：70歳以上」では36.1%であり、全体の48.6%と比べて12.5ポイント少ない。
- ・ 「肝炎ウイルスやヒトパピローマウイルス、ヘリコバクターピロリ菌に感染すること」は全体では33.5%であるが、「女性：70歳以上」は54.9%と全体と比べて21.4ポイント多いのに対し、「女性：19歳以下」は8.4%と全体と比べて25.1ポイント少なく、年代でのばらつきが見られる。



■ 全体+10%以上
■ 全体-10%以下
(属性n=30以上)

		n 数	たばこを吸う習慣があること	他人のたばこの煙を吸うこと（受動喫煙）	放射線に被曝すること	肺炎ウイルスやヒトパピローマウイルス、ヘリコバクターピロリ菌に感染すること	お酒を飲みすぎることに	塩分を摂り過ぎること	太り過ぎや痩せすぎることに	運動不足であることに	野菜・果物の摂取が不足することに	赤肉（牛・豚の肉）や保存・加工肉を摂り過ぎること	飲食物を熱い状態で摂ること
全体		5,380	74.2	48.6	39.7	33.5	27.8	21.1	15.5	12.9	11.7	8.3	6.7
男性	男性計	2,795	75.6	47.8	39.6	29.2	29.3	22.3	16.2	13.3	13.5	7.3	5.9
	19歳以下	132	84.1	50.8	34.1	16.7	45.5	15.9	14.4	18.2	12.1	4.5	3.8
	20代	406	76.4	58.4	40.1	18.2	32.3	17.7	18.5	12.8	14.5	7.1	3.9
	30代	546	74.2	48.0	35.7	19.4	31.3	24.9	20.5	15.9	14.8	9.7	5.5
	40代	584	76.2	50.5	40.8	27.2	29.8	20.2	17.8	14.4	13.2	5.8	4.1
	50代	439	75.2	44.2	44.2	31.0	26.4	26.4	14.4	13.4	12.1	7.7	5.0
	60代	397	70.8	44.3	42.6	47.1	21.2	22.9	11.8	10.1	12.6	7.3	9.3
70歳以上	291	79.0	36.1	35.1	45.7	28.9	24.1	11.3	8.9	14.4	6.2	10.3	
女性	女性計	2,585	72.6	49.5	39.9	38.1	26.1	19.8	14.7	12.5	9.8	9.3	7.6
	19歳以下	131	76.3	59.5	33.6	8.4	35.1	21.4	23.7	21.4	14.5	2.3	3.8
	20代	414	76.1	54.6	37.4	24.9	33.6	23.9	18.1	13.8	7.5	5.8	4.3
	30代	512	77.7	50.4	34.2	29.7	33.2	18.8	17.8	14.5	8.8	10.5	4.5
	40代	551	71.1	47.7	38.8	38.5	27.0	20.5	15.8	12.9	9.6	9.8	8.2
	50代	398	68.8	43.5	47.7	51.8	20.1	19.1	11.3	9.0	8.0	10.1	10.6
	60代	395	69.1	48.4	43.8	50.9	15.7	15.9	9.6	11.1	12.7	11.4	11.4
70歳以上	184	68.5	48.9	44.0	54.9	15.2	20.1	7.1	7.1	13.0	11.4	9.8	

4 : 「がん」検診について

(1) 受診開始年齢

ア 胃がん

問10. 「がん」検診についてお聞きします。

「がん」検診は何歳から受ければよいと思いますか。

(ア) 胃がん

【回答の選択肢】 (ひとつ選択)

「19歳以下」

「20歳代」

「30歳代」

「40歳代」

「50歳代」

「60歳代」

「70歳以上」

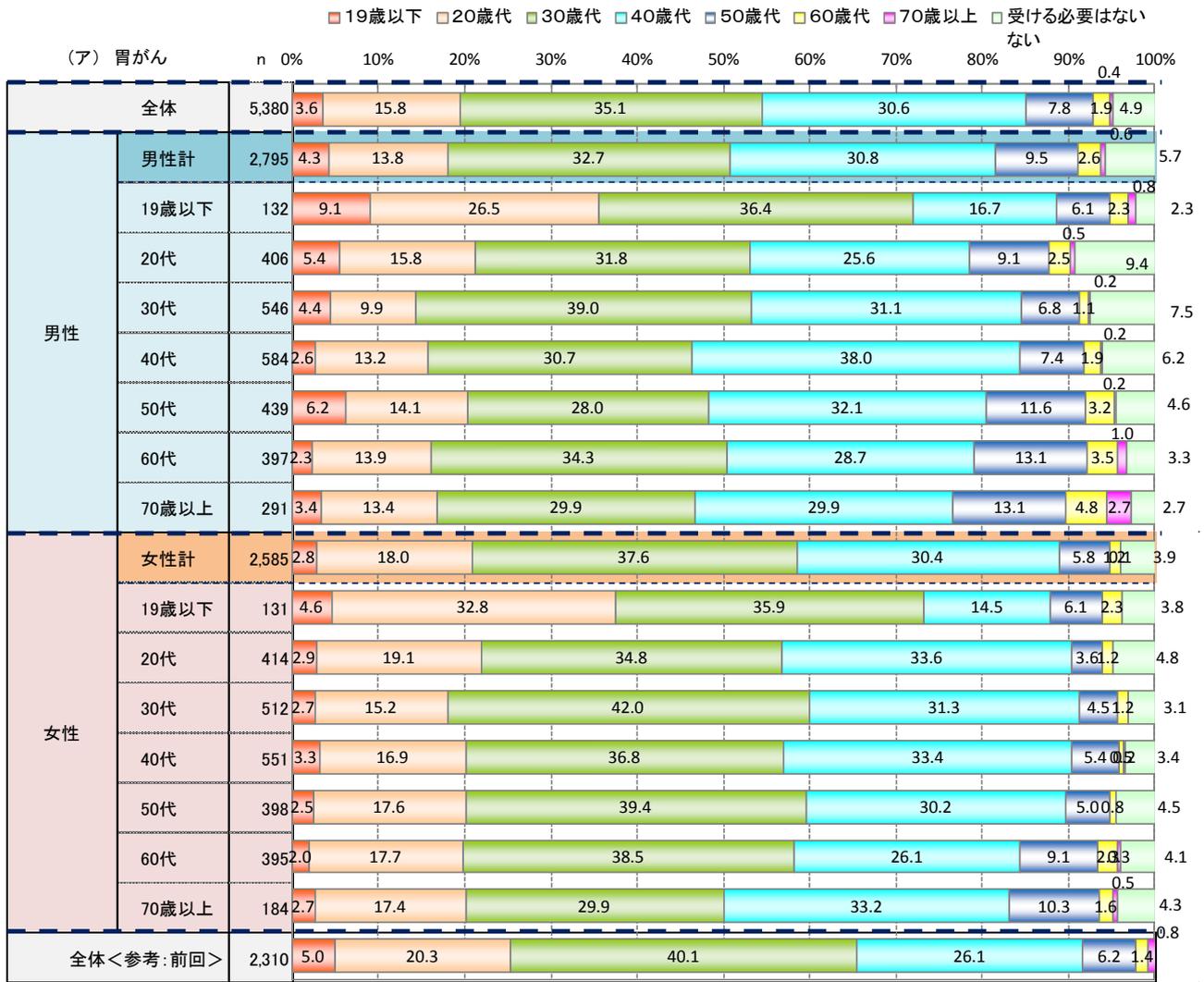
「受ける必要はない」

【全体】

- 胃がんの受診開始年齢について尋ねたところ、全体では「30歳代」が35.1%と最も多く、次に「40歳代」が30.6%となり、これらの年代で全体の3分の2近くを占めている。

【性別×年代別】

- 男女ともに、「30歳代」が最も多く、次に「40歳代」である。
- 「20歳代で胃がん検診を受ければよい」は、全体、男性計、女性計では10%台だが、「男性：19歳以下」では26.5%、「女性：19歳以下」では32.8%である。特に、「女性：19歳以下」では「20歳代または30歳代で胃がん検診を受けたほうがよい」という回答を合わせると、全体の3分の2を超える。
- 「受ける必要はない」は、「男性：20代」では9.4%、「男性：30代」では7.5%であり、「10代」、「20代」の男性が比較的多い。



※ 前回調査では、「受ける必要はない」は選択肢になし。

4 : 「がん」検診について

(1) 受診開始年齢

イ 肺がん

問10. 「がん」検診についてお聞きします。

「がん」検診は何歳から受ければよいと思いますか。

(イ) 肺がん

【回答の選択肢】 (ひとつ選択)

「19歳以下」

「20歳代」

「30歳代」

「40歳代」

「50歳代」

「60歳代」

「70歳以上」

「受ける必要はない」

【全体】

- 肺がんの受診開始年齢について尋ねたところ、全体では「40歳代」が32.6%と最も高く、次に「30歳代」が31.1%となり、これらの年代を合わせると60%を超えている。

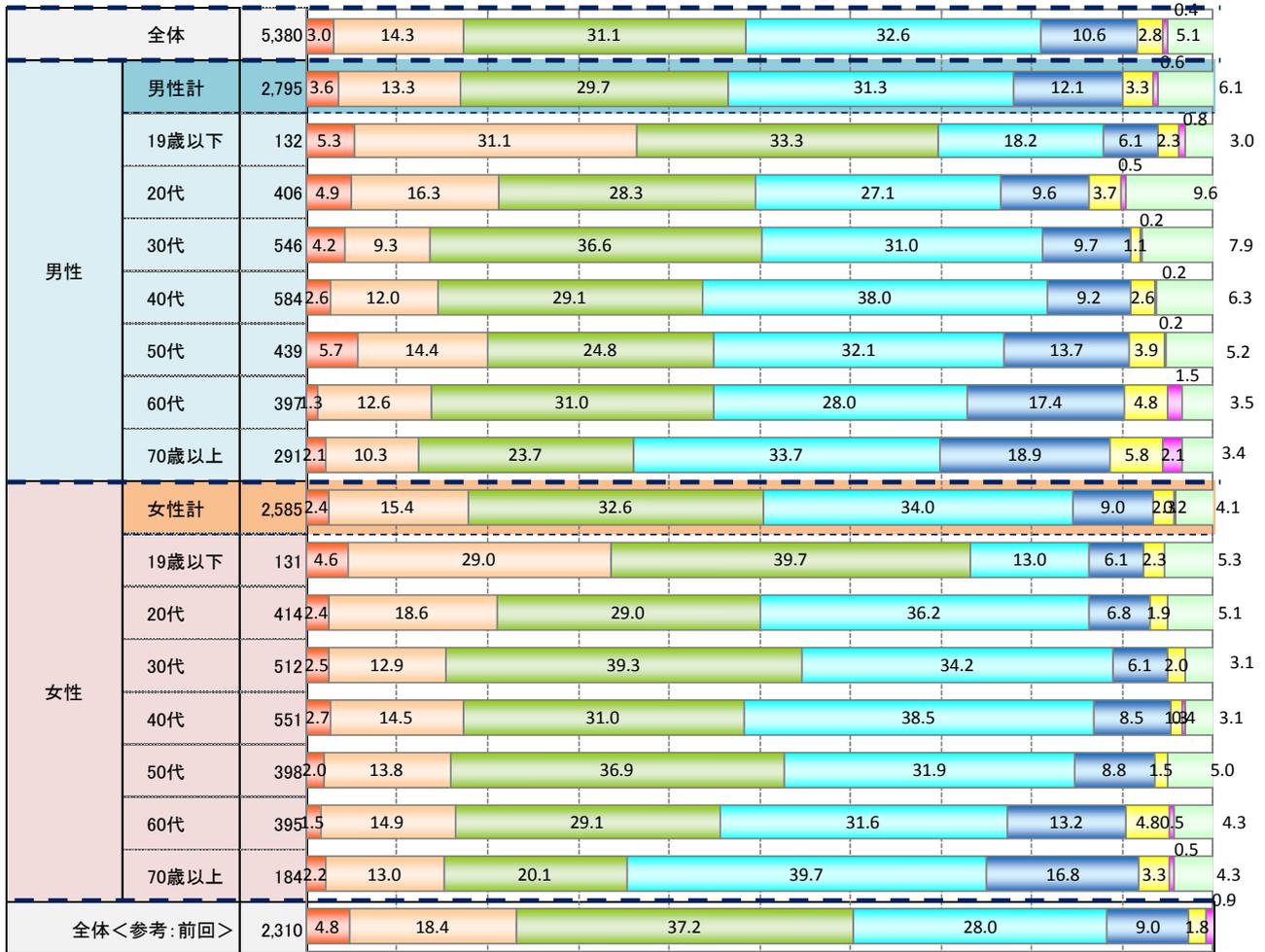
【性別×年代別】

- 男女ともに、「40歳代」が最も高く、次に「30歳代」と続く。「40歳代」と「30歳代」の回答を合わせると、男女ともに60%を超える。
- 「20歳代」という回答は、全体、男性計、女性計では10%台だが、「男性：19歳以下」では31.1%、「女性：19歳以下」では29.0%である。
- 「19歳以下」は「20歳代」又は「30歳代」で受診したいという回答が多い。「女性：19歳以下」、では、「20歳代」または「30歳代」という回答を合わせると、68.7%と全体の3分の2を超え、「男性：19歳以下」でも、「20歳代」または「30歳代」という回答を合わせると、64.4%である。
- 「受ける必要はない」は、「男性：20代」では9.6%、「男性：30代」では7.9%であり、ほかの世代と比べると多い。

(イ) 肺がん

■ 19歳以下
 ■ 20歳代
 ■ 30歳代
 ■ 40歳代
 ■ 50歳代
 ■ 60歳代
 ■ 70歳以上
 ■ 受ける必要はない

n % 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



※ 前回調査では、「受ける必要はない」は選択肢になし。

4 : 「がん」検診について

(1) 受診開始年齢

ウ 大腸がん

問10. 「がん」検診についてお聞きします。

「がん」検診は何歳から受ければよいと思いますか。

(3) 大腸がん

【回答の選択肢】 (ひとつ選択)

「19歳以下」

「20歳代」

「30歳代」

「40歳代」

「50歳代」

「60歳代」

「70歳以上」

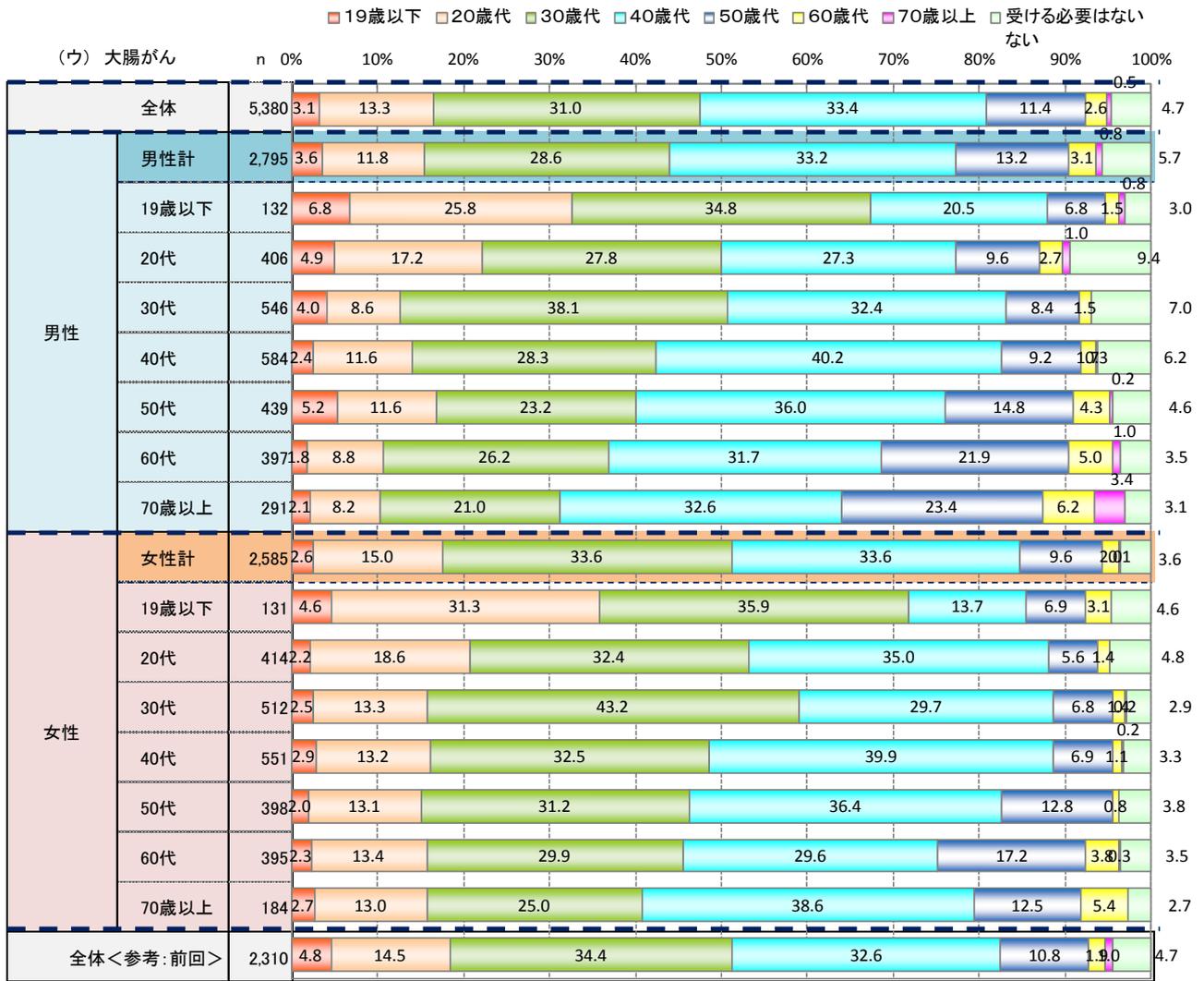
「受ける必要はない」

【全体】

- ・ 大腸がんの受診開始年齢について尋ねたところ、全体では「40歳代」が33.4%と最も高く、次に「30歳代」が31.0%となり、これらの年代を合わせると全体の約65%を占めている。

【性別×年代別】

- ・ 男性は「40歳代で大腸がん検診を受ければよい」が33.2%と最も高く、次に「30歳代」が28.6%で続いている。女性は「40歳代」と「30歳代」が33.6%で同じである。
- ・ 「20歳代」は全体、男性計、女性計では10%台だが、「男性：19歳以下」では25.8%、「女性：19歳以下」では31.3%である。
- ・ 「19歳以下」は「20歳代」又は「30歳代」で受診したいという回答が多い。「女性：19歳以下」は「20歳代」という回答が31.3%、「30歳代」という回答が35.9%であり、それらを合わせると、67.2%であり、全体の3分の2を超える。「男性：19歳以下」も「20歳代」と「30歳代」という回答を合わせると、60.6%である。
- ・ 「受ける必要はない」は、「男性：20代」では9.4%、「男性：30代」では7.0%である。



※ 前回調査では、「受ける必要はない」は選択肢になし。

4 : 「がん」検診について

(1) 受診開始年齢

エ 子宮頸がん

問10. 「がん」検診についてお聞きします。

「がん」検診は何歳から受ければよいと思いますか。

(エ) 子宮頸がん

【回答の選択肢】 (ひとつ選択)

「19歳以下」

「20歳代」

「30歳代」

「40歳代」

「50歳代」

「60歳代」

「70歳以上」

「受ける必要はない」

【全体】

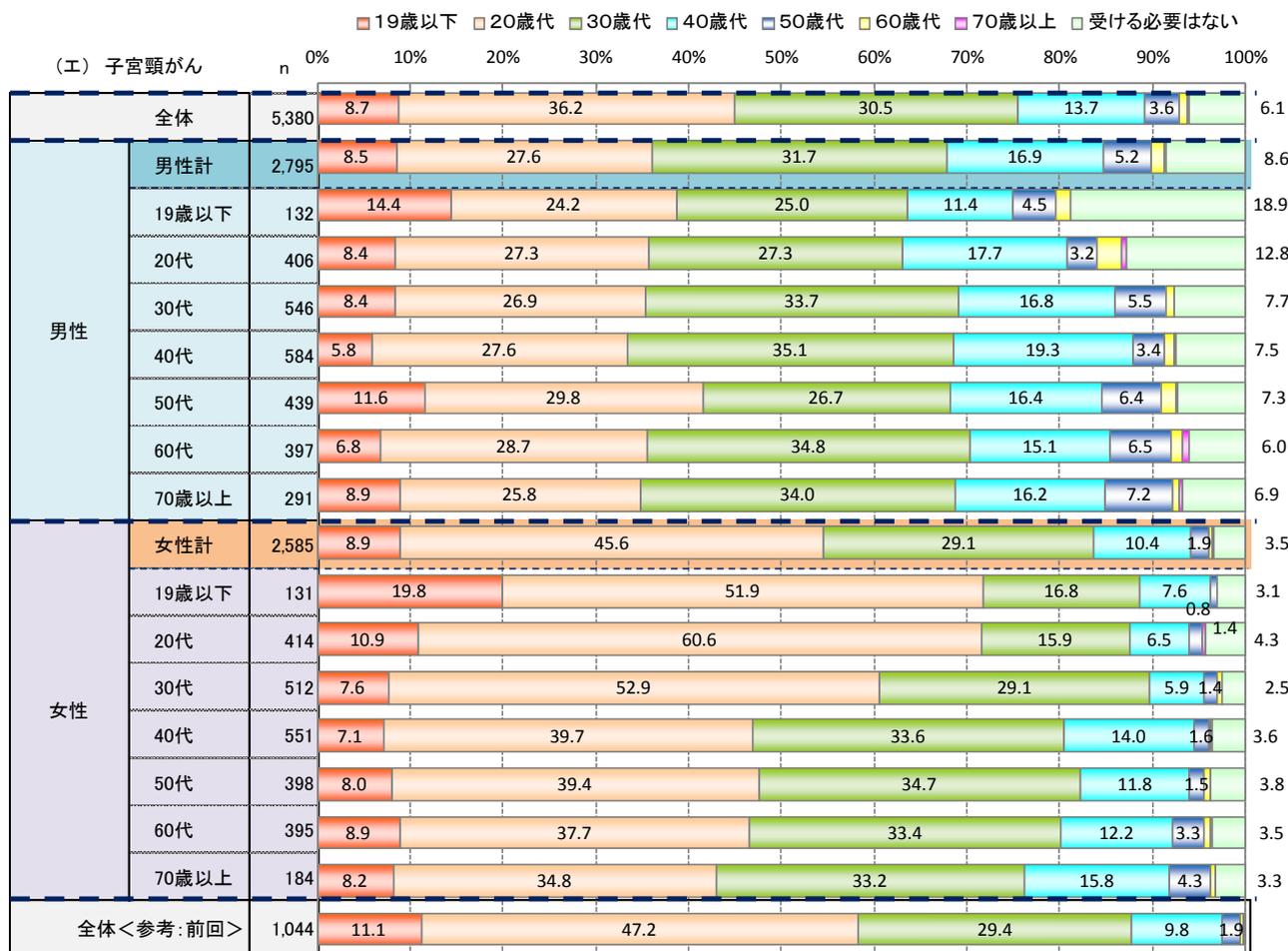
- 子宮頸がんの受診開始年齢について尋ねたところ、全体では「20歳代」という回答が36.2%と最も高く、次に「30歳代」という回答が30.5%となり、これらの年代で全体の3分の2近くを占めている。

【性別×年代別】

- 男女間の傾向の差がはっきりと出ている。男性では「30歳代」が31.7%と最も多く、次に「20歳代」の27.6%である。一方、女性では「20歳代」が45.6%と最も多い。
- 女性の「19歳以下」「20歳代」「30歳代」は過半数が「20歳代」という回答をしている。一方、男性では「20歳代」と回答が20%台である。
- 男性の「19歳以下」「20歳代」は「受ける必要はない」が、10%を超えている。

【前回調査との比較】

- 前回調査は女性のみを対象として実施したが、今回は男性を調査対象に加えている。前回（女性のみ）は「20歳代」という回答が47.2%で最も多かった、今回は「20歳代」という回答が女性計で45.6%であり、前回調査と比べて1.6ポイント低くなった。
なお、前回調査では「受ける必要はない」は選択肢になかった。



※ 前回調査では、女性が質問の対象で、「受ける必要はない」は選択肢になし。
 ※ 「60代」「70代」の回答者割合はグラフ上では数字が小さくなるため下表にて抜粋

	60歳代	70歳以上
全体	0.9	0.2
男性計	1.4	0.3
19歳以下	1.5	—
20代	2.7	0.5
30代	0.9	—
40代	1.0	0.2
50代	1.6	0.2
60代	1.3	0.8
70歳以上	0.7	0.3
女性計	0.4	0.1
19歳以下	—	—
20代	—	0.2
30代	0.6	—
40代	0.2	0.2
50代	0.8	—
60代	0.8	0.3
70歳以上	0.5	—

4 : 「がん」検診について

(1) 受診開始年齢

オ 乳がん

問10. 「がん」検診についてお聞きします。

「がん」検診は何歳から受ければよいと思いますか。

(オ) 乳がん

【回答の選択肢】 (ひとつ選択)

「19歳以下」

「20歳代」

「30歳代」

「40歳代」

「50歳代」

「60歳代」

「70歳以上」

「受ける必要はない」

【全体】

- ・ 乳がんの受診開始年齢について尋ねたところ、全体では「20歳代」が35.5%と最も多く、次に「30歳代」が34.7%となり、これらの年代をあわせると70%を超えている。

【性別×年代別】

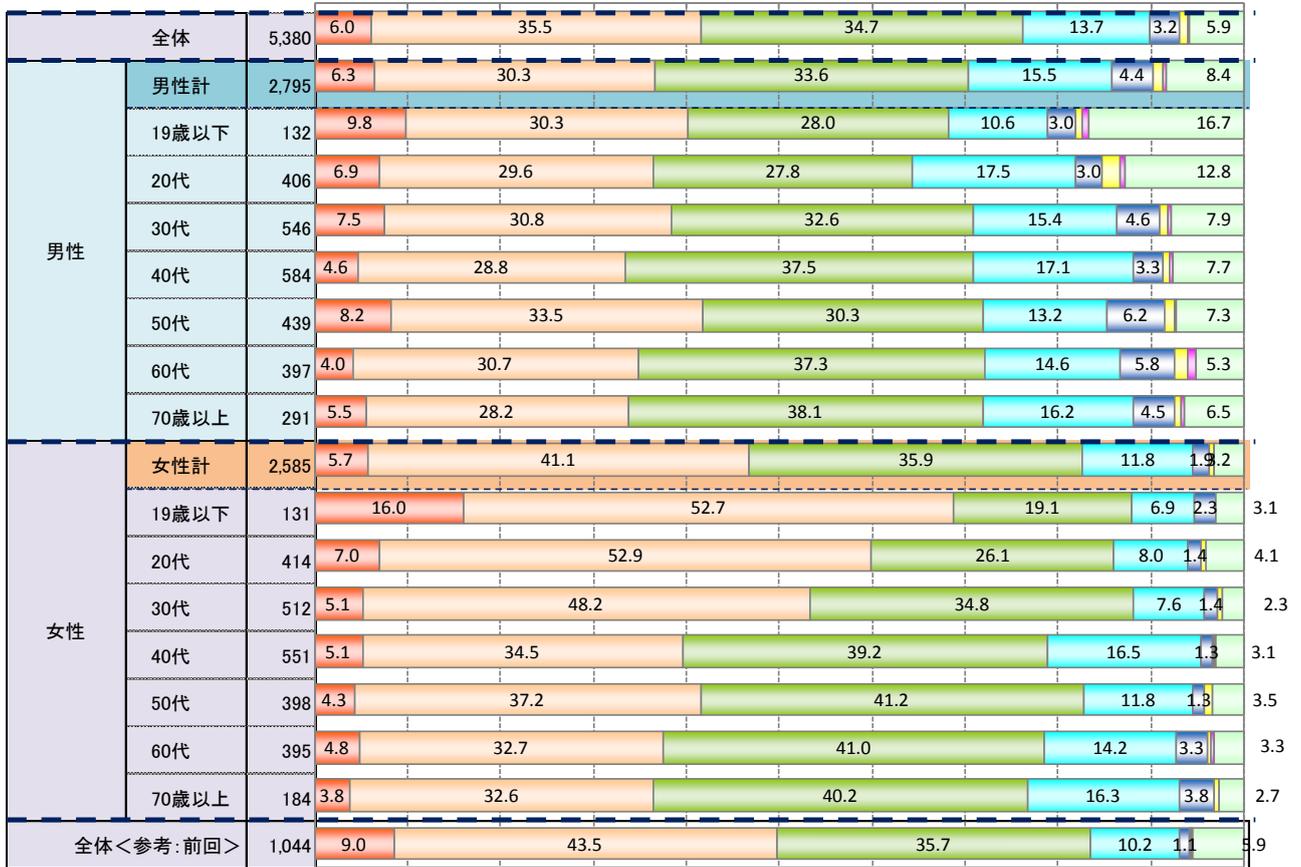
- ・ 男性では「30歳代」が33.6%で最も多く、次に「20歳代」の30.3%である。一方、女性では「20歳代」が41.1%で最も多く、次に「30歳代」の35.9%である。
- ・ 「女性：19歳以下」では、「19歳以下」が16.0%であり、女性計の5.7%と比べて10.3ポイント多い。乳がん検診を受ければよい年齢は、女性計では「30歳代」以下が82.7%を占める。
- ・ 「受ける必要はない」は、女性は全世代で5%未満であるが、男性は、「19歳以下」で16.7%、「20代」で12.8%と10%を超えている。

【前回調査との比較】

- ・ 前回調査は女性のみを対象として実施したが、今回は男性を調査対象に加えている。前回（女性のみ）は、「20歳代」という回答が最も多く、前は43.5%であったが、今回は女性計で最も多い回答であるもの、41.1%と2.4ポイント低くなった。なお、前回調査では「受ける必要はない」は選択肢になかった。

(オ) 乳がん

■ 19歳以下
 ■ 20歳代
 ■ 30歳代
 ■ 40歳代
 ■ 50歳代
 ■ 60歳代
 ■ 70歳以上
 ■ 受ける必要はない



※ 前回調査では、女性が質問の対象で、「受ける必要はない」は選択肢になし。
 ※ 「60代」「70代」の回答者割合はグラフ上では数字が小さくなるため下表にて抜粋

	60歳代	70歳以上	(単位: %)
全体	0.8	0.3	
男性計	1.1	0.4	
19歳以下	0.8	0.8	
20代	2.0	0.5	
30代	0.9	0.4	
40代	0.7	0.3	
50代	1.1	0.2	
60代	1.5	0.8	
70歳以上	0.7	0.3	
女性計	0.5	0.1	
19歳以下	—	—	
20代	0.5	—	
30代	0.6	—	
40代	0.2	0.2	
50代	0.8	—	
60代	0.5	0.3	
70歳以上	0.5	—	
全体<参考:前回>	0.1	0.3	

4 : 「がん」 検診について

(2) 受診機会

ア 希望の形態

問 1 1. がん検診を受診する際、どのような機会を受診したいですか。

【回答の選択肢】 (ひとつ選択)

「区市町村のがん検診」

「職場のがん検診」

「人間ドックなど個人的に医療機関で受診」

「その他 (自由回答)」

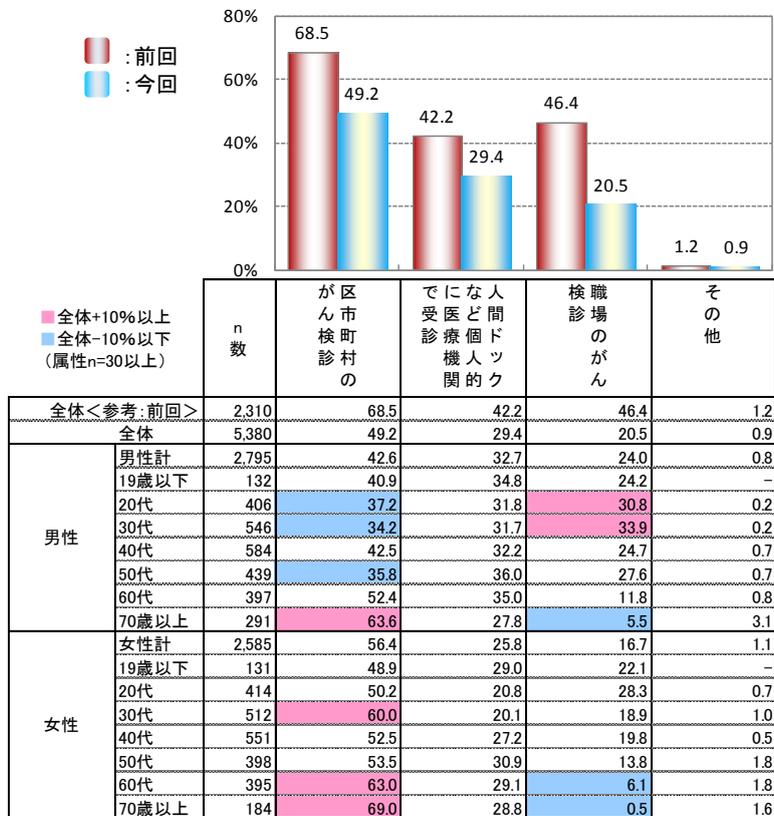
※ 前回調査では複数回答、今回はひとつを選択

【全体】

- がん検診を受診したい機会について尋ねたところ、「区市町村のがん検診」が 49.2%で最も高く、全体の半数近くを占めている。次に、「人間ドックなど個人的に医療機関で受診」が 29.4%、「職場のがん検診」という回答が 20.5%と続いている。

【性別×年代別】

- 男女ともに、「区市町村のがん検診」と回答が最も多いが、男性は 42.6%と半数に達していないのに対し、女性は 56.4%と過半数に達している。
- 一方、「人間ドックなど個人的に医療機関で受診」と回答は、男性が 32.7%であるのに対し、女性は 25.8%である。
- 「職場のがん検診」は、「男性：20代」で 30.8%、「男性：30代」で 33.9%であり、若い男性世代のニーズが高い。
- 「職場のがん検診」は、男女共に 60代より上の世代では低くなる。一方、「区市町村のがん検診」は、男女共に 60代より上の世代では多くなる。



※ 前回調査は複数回答、今回調査はひとつを選択

【前回調査との比較】

- ・ 前回調査は複数回答で今回はひとつを選択と、回答方式が変わっている。そのために数値の単純比較はできないが、「区市町村のがん検診」が最も多い点には変わりはない。一方、「職場のがん検診」は、前回調査では「区市町村のがん検診」に次いで多いが、今回は「人間ドックなど個人的に医療機関で受診」より少ない。
- ・ 今回調査で、「区市町村のがん検診」は女性の方が多く、前回調査でも、男性が62.1%、女性が76.2%と、女性の方が多い。
- ・ 対して、今回調査で、「職場のがん検診」は男性の方が多く、前回調査でも、男性は45.6%、女性が38.1%と、男性の方が多い。

※ 前回調査では複数回答、今回はひとつを選択

		n 数	が 区 市 検 診 村 の	で に な 人 受 診 療 機 関 的 ク	検 職 場 の が ん	そ の 他
全体		2,310	68.5	42.2	46.4	1.2
男性	男性計	1,266	62.1	49.3	45.6	1.4
	19歳以下	21	66.7	47.6	66.7	-
	20代	196	60.2	48.5	57.1	0.5
	30代	195	57.4	41.0	57.4	1.0
	40代	228	56.6	46.5	51.8	0.4
	50代	230	57.8	53.9	43.5	1.7
	60代	294	67.7	52.4	29.6	2.4
	70歳以上	102	79.4	53.9	33.3	2.9
女性	女性計	1,044	76.2	42.8	38.1	0.9
	19歳以下	25	76.0	56.0	52.0	-
	20代	178	78.1	40.4	46.1	-
	30代	236	79.2	38.6	42.8	1.3
	40代	232	71.6	44.8	37.9	1.7
	50代	235	76.2	43.0	32.8	0.9
	60代	117	76.9	47.0	28.2	-
	70歳以上	21	76.2	47.6	19.0	-

<前回（平成23年時）調査結果>

4：「がん」検診について

(2) 受診機会

イ 受診対象

問12. がん検診は健康な人が受けるものであることを知っていますか。

【全体】

- 「知っている」が78.3%、「知らない」が21.7%である。

【性別×年代別】

- 男女ともに、全年代で「知っている」は60%を超え、「男性：20代」「男性：30代」を除き70%以上である。
- 男女ともに、20代が「知っている」が最も少なく、「女性：70歳以上」を除き、年代が上がるにつれて多くなる。
- 同じ年代の男女間で「知っている」を比べると、全ての年代で女性の方が男性より多い。

